

第30回例会報告(2月16日)

【出席報告】

・会員数 61名
 ・出席数 37名
 ・欠席数 24名
 ・当日出席率 71.43%
 ・前々回修正出席率 85.71%
 <欠席会員> 天野、青野、原田、檜垣(圭)、檜垣(巧)、飯、川上、前川、宮本、越智(節)、越智(務)、大澤、酒井、竹田
 [免除会員] 原(真)、原(竜)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、佐伯、坂本、白石(天)、高木
 <2/2欠席補填> (1/30今治北)日浅、村上(裕)清水 (1/31今治南)天野、飯沼
 (2/7今治南)佐藤

会長報告・2月12日(日)に国際ホテルで行われましたライオンズクラブ国際協議会336-A地区2R-2Z今治サーチングライオンズクラブ認証伝達式に出席しました。

職場訪問例会

今治コンピュータ・カレッジ
 渡邊道信職業奉仕委員長・今日は今治コンピュータ・カレッジの皆様にお世話になります。先ず、永野校長先生にご挨拶をして頂き、ビデオを20分見て、校内を10分間見学させていただきます。

今治コンピュータ・カレッジ校長・永野晃斌氏/「ようこそいらっしゃいました。こちらは初めての方が多いのではないでしょうか。当校の設立経緯は、S.62年10月に情報処理関連技能養成施設として国へ要望して、63年2月に労働省指定内示、5月に承認を受け、8月に職業訓練法人・東予情報処理技術振興財団を設立した。そして平成元年4月に開校した。H.5年5月には学生会館が竣工し、その後H.7年、12年、17年と5年おきに国の費用で機器を全面更新して頂いている。現在約110台が稼働中。当校の目的は高度情報社会に即応するため、実践的なスペシャリストの養成にある。このような施設は四国ではここだけで、全国には13カ所ある。学科は「情報処理科」と「情報ビジネス科」の2つがあり、定員は各50名。修業年限は2年。授業料は1年次76万円。後期授業料免除の特待生制度もある。教職員は1



1名。建物は国が造り、機器も国が導入し、運営は第3セクターで。運営費の不足分は今治市からの補助を頂いている。課題は18歳人口の減少等により学生の確保に大変苦労しています。また、卒業生の就職についても皆様のご協力を頂ければ幸いです。」

この後、卒業研究発表会のビデオを20分間見て、校内の各教室を案内して頂きました。会員にとって、普段の生活では見ることの少ない分野の勉強になりました。大変お世話になり有難うございました。

<ゲスト> 今治コンピュータ・カレッジ校長兼事務長・永野晃斌氏、教務主任・真鍋文嘉氏、講師・笠原紀美子氏

次回例会(2月23日)

【ロータリー創立記念例会】

<会員誕生日> 日浅 正一氏(2/23)
 <夫人誕生日> 平尾浩一郎氏(2/25)

[献立 : 健寿司]